

開設25年目の新たな一歩。 5研究科に再編し、 教育研究を深化・発展させる。

2013年4月、開設25年目を迎える愛知淑徳大学大学院は、既存の研究科を発展的に統合して「文化創造研究科」「心理医療科学研究科」を新設し、5研究科に再編します。時代の要請に応え得る人材の育成と、地域社会へのさらなる貢献をめざします。

社会の多様な要請に よりの確に応える

昭和から平成へ、時代が新たに動き始めた1989年、愛知淑徳大学大学院が開設されました。設置されたのは、文学研究科。国文学専攻、英文学専攻、図書館情報学専攻の3専攻からなり、本学の教育研究活動が深みを増していく契機となりました。さらに、「違いを共に生きる」という理念を掲げて大学全体が男女共学に移行した1995年以前から、大学院ではすでに男子学生や社会人にも門戸を広げ、性別や年齢などの違いを越えて共に研鑽する環境を整えてきました。

このように本学に新風をもたらした大学院は、常に時代の先を見据えて研究科を新設し、2010年には9研究科体制

へと発展しました。そして開設25年目となる2013年、激変する社会の要請に

よりの確に応えるために、また新たな一歩を踏み出します。各学問の独立性と総合化を両立させながら既存の研究科を発展的に統合し、学生の広い研究志向や関心に応え得る「学際性」と「専門性」をあわせ持つ大学院へと大きく進化します。その新体制は、教育学研究科、グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科、ビジネス研究科、そして新設される文化創造研究科と心理医療科学研究科の5研究科。「十年先、二十年先に役立つ人材の育成」という学園創立以来の教育方針を礎に、地域や社会の発展に貢献し得る人材をより多く輩出し、本学の理念「違いを共に生きる」を高度なレベルで実現していきます。

愛知淑徳大学 大学院 2013年4月、5研究科に再編

2012年10月入学者まで	2013年度
文学研究科 文学専攻(国文学コース・図書館情報学コース) 文化創造研究科 創造表現専攻 現代社会研究科 現代社会専攻 (メディアプロデュースコース 都市環境デザインコース)	文化創造研究科 <国文学領域><クリエイティブライティング領域> 文化創造専攻 <図書館情報学領域><メディアコミュニケーション領域> (都市環境デザイン領域)
教育学研究科 発達教育専攻	教育学研究科 発達教育専攻
心理学研究科 心理学専攻 医療福祉研究科 ソーシャルサービス専攻 / コミュニケーション障害学専攻(言語聴覚学コース・視覚科学コース)	心理医療科学研究科 <心理学・社会福祉学コース(心理学領域、社会福祉学領域)> 心理医療科学専攻 <医療科学コース(言語聴覚学領域、視覚科学領域、健康科学領域)> (臨床心理学コース(臨床心理学領域))
現代社会研究科 現代社会専攻(地域・国際社会コース) グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻 (言語文化コース・国際交流コース)	グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻 <言語文化コース><交流文化コース>
ビジネス研究科 ビジネス専攻	ビジネス研究科 ビジネス専攻

新設2研究科

探究心、向学心に応える横断的な教育研究体制を整備しました。

文化創造研究科



5つの領域間の垣根を越えて横断的に学ぶことを可能にし、文化向上に寄与する高次元の創造的表現を追究。

文学、文芸、情報学、メディア、造型デザインを専門とする5領域からなり、広義における表象文化を対象に、人間の創造活動を幅広く捉え、高度な専門的学識の獲得と総合的な文化創造の両立をめざします。

学びのホームグラウンドとして1領域の研究を深めるとともに、他の領域にも知識を広げて学際的研究視野をも身につけることができ、より高次元の創造的表現を追究していきます。

都市環境デザイン領域

都市と建築の計画、設計、維持、保全に関する専門知識を、理論と応用の両面から修得し、都市と建築を工学的、文化的、社会的に捉える。

メディアコミュニケーション領域

放送、新聞、出版、広告などのマスメディア、デジタルメディア、多様な表現領域を、理論、実証、実践の3つの側面から追究する。

図書館情報学領域

図書館情報学や、情報メディア、情報サービス、情報システムなど人間工学を含む広義における情報学を対象に、幅広く学修・研究する。

クリエイティブライティング領域

詩、小説、評論、童話、戯曲などの作品の批評と創作方法の研究を中心に、隣接する諸領域を含む幅広い表現ジャンルを学修・研究する。

国文学領域

日本文学、日本語学、日中比較文学を中心に幅広い学修・研究を行い、深い知性と豊かな感性をあわせ持つ人間力に優れた人材を育成する。

心理医療科学研究科



心身の健康や福祉に関する6領域を専門的・学際的に追究し、「生涯健康社会の創生」に貢献し得る人材を養成。

心理学領域、社会福祉学領域、言語聴覚学領域、視覚科学領域、健康科学領域、臨床心理学領域の独立性と総合性を両立させた3コースで構成されています。新たな学問的課題や社会的問題に対応できる学際性を備えた人材を養成するとともに、新設される「愛知淑徳大学健康・医療・教育センター(アースメック)」と連携しながら教育研究の成果をより直接的、具体的に地域社会に還元し、日本社会の最も根幹的な要請である「生涯健康社会の創生」への貢献をめざします。

臨床心理学コース

臨床心理学領域

心理臨床実践の積み重ねと個別指導により、将来の実践基盤となる対象理解と面接、コミュニティ支援の能力を総合的に修得する。

臨床心理士
第一種指定大学院

医療科学コース

健康科学領域

加齢医学、老年学、精神保健学に関する専門知識を修得し、人の生涯にわたる「健康」を多様な側面から追究する。

視覚科学領域

視能矯正学、視覚障害学、視覚科学を追究し、より有効な検査や支援などに役立つ専門知識・技能を修得する。

言語聴覚学領域

言語聴覚障害学、言語聴覚訓練、言語聴覚学を追究し、より有効な検査や支援などに役立つ専門知識・技能を修得する。

心理学・社会福祉学コース

社会福祉学領域

社会福祉学、精神保健福祉学により高度な専門知識・技能を修得し、複雑化している社会福祉問題を追究する。

心理学領域

「生理・認知」「社会」「発達」の3分野から人間の行動を科学的に探究し、より専門性の高い人間理解の視点を修得する。

愛知淑徳職場内保育室(AS保育室)
子育てと学業の両立を実現できる
支援体制を整えています。

「違いを共に生きる」という理念のもと、教育研究体制の充実をめざし、愛知淑徳職場内保育室(AS保育室)を開設しました。子育てと学業の両立ができる環境づくりに努め、より多くの方の学び意欲に応えます。

